



守山商工会議所

農商工連携事業



守山産の花びらを使って加工品を開発しました。

守山商工会議所では、昨年より地域の農産品を活用しての新商品（加工）開発に取り組んでいます。これまでは、市内の市民グループや生産者の方々と協力し、レンコンとキュウリを酢漬けた「恋ちゃん漬け」や笠原の生姜を絞った「ジンジャエール」、伝統野菜の「矢島かぶらの漬け物」、観光スポットとして人気の高い菜の花を使った「菜の花漬け」等を試作・販売してきました。

今年度においても、昨年の経験を活かしつつJAおうみ富士や行政関係者、地元の実業所や関係団体等と「もりやまやまもりプロジェクト連絡会」を設け、農産物をはじめとする地域資源を有効に活用して事業に取り組むことにより、本市の地域活性化につなげることを目的に農商工連携事業に取り組んでいます。

そしてこの度、更に守山産バラの花びらを使った「バラ花びらジャム」を共同開発しました。



バラの花びらがそのまま入っています。

通常販売されているバラジャムは、香料による香りが強くなりますが、「バラ花びらジャム」は守山産のバラを100%使用し、見た目も美しく、花びらの食感を楽しめる“本物志向”で、花好きの方をターゲットにした商品です。

リラックス効果・若返り効果・汗や加齢臭を抑える作用など様々な効果が期待されており、非常に注目されています。是非お試しを！！

守山市は全国有数の「バラ」の産地！

守山市はバラの産地として有名で、鑑賞用バラの生産者の技術も高く、全国に出荷されています。しかし、市民にもあまり認識されていない残念な現状があります。

この度の「バラ花びらジャム」の開発を通じて、市民の皆様にも「もりやまのバラ」をわが町の農産物として親しみを持って頂くとともに、全国へPRすることにより、地域経済の活性化に寄与することを目的としています。



PRを兼ねた、試食・試飲会を開催！

この秋からの本格的な販売開始に先駆けて、6月5日（土）・6（日）の両日、もりやまバラ・ハーブ園においてバラの花びらを加工したジャム等の試食・試飲会を開催しました。

今後は、市内の実業所にも参画を呼びかけ、事業の継続ができるよう、組織の強化と充実を図り、守山市の一大事業となるよう積極的に取り組んでいくものです。

本商品に関する
お問い合わせ先

守山商工会議所

電話 077-582-2425